



2026年4月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年12月1日

上場会社名 株式会社伊藤園 上場取引所 東
コード番号 2593 URL <https://www.itoen.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）本庄 大介
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）平田 篤 （TEL）03-5371-7197
半期報告書提出予定日 2025年12月12日 配当支払開始予定日 2026年1月15日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年4月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年5月1日～2025年10月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期中間期	262,478	4.0	13,934	△3.2	14,947	2.3	9,542	3.8
2025年4月期中間期	252,321	4.0	14,389	△15.6	14,617	△19.2	9,191	△18.0

（注1）包括利益 2026年4月期中間期 11,817百万円（29.7%） 2025年4月期中間期 9,110百万円（△31.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年4月期中間期	81.24	81.08
2025年4月期中間期	75.97	75.81

（注2）1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年4月期中間期	362,144	184,873	50.6
2025年4月期	344,598	175,971	50.6

（参考）自己資本 2026年4月期中間期 183,372百万円 2025年4月期 174,279百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年4月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2026年4月期	—	24.00			
2026年4月期（予想）			—	24.00	48.00

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注2）配当の状況は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る配当の状況については、以下（参考）をご覧ください。

3. 2026年4月期の連結業績予想（2025年5月1日～2026年4月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	490,000	3.7	25,500	11.0	25,700	11.9	16,000	13.0	135.72

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注2）連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細については、添付資料 9 ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年4月期中間期	85,212,380株	2025年4月期	85,212,380株
② 期末自己株式数	2026年4月期中間期	889,852株	2025年4月期	906,132株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年4月期中間期	84,314,142株	2025年4月期中間期	87,509,909株

(注) 発行済株式数は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については、以下 (参考) をご覧ください。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る1株当たり情報(累計)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年4月期中間期	87.25	87.09
2025年4月期中間期	81.93	81.78

(2) 第1種優先株式に係る配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年4月期	—	28.00		28.00	56.00
2026年4月期	—	30.00			
2026年4月期(予想)			—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(3) 第1種優先株式に係る連結業績予想の1株当たり情報

	1株当たり当期純利益
	円 銭
通期	147.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

(4) 第1種優先株式に係る発行済株式数

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年4月期中間期 32,246,962株 2025年4月期 32,246,962株

② 期末自己株式数

2026年4月期中間期 1,337,598株 2025年4月期 1,394,070株

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年4月期中間期 30,854,670株 2025年4月期中間期 31,045,057株

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における日本経済は、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調が続いた一方で、米国の通商政策の影響や、物価上昇の継続による消費者マインドの下振れなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、経営理念「お客様第一主義」のもと、当社グループと関わるすべての方々をお客様と位置づけ、ご意見やご要望に真摯に向き合い、常にお客様の立場に立った対応を図りながら、一丸となって積極的な事業活動を行ってまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の当社グループの経営成績は、以下のとおりとなりました。

売上高	2,624億78百万円	(前年同期比4.0%増)
営業利益	139億34百万円	(前年同期比3.2%減)
経常利益	149億47百万円	(前年同期比2.3%増)
親会社株主に帰属する中間純利益	95億42百万円	(前年同期比3.8%増)

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

<リーフ・ドリンク関連事業>

国内では盛夏期の記録的な高温や、北・東日本で例年に比べて降水量が少なかった影響により、主力の「お〜いお茶」、「健康ミネラルむぎ茶」ブランドの飲料製品を中心に売上高は堅調に推移しました。また、海外では現在50の国と地域で販売をしており、中でも米国や東南アジアでは健康志向の高まりを背景に緑茶・抹茶の需要が拡大し、売上高は好調に推移しました。一方、営業利益は米国コーヒー豆事業の採算性改善があったものの、主原料である緑茶をはじめとする各種コストの上昇を受けて減益となりました。

近年の世界的な抹茶需要の拡大に対しては、抹茶調達の専門部署を立ち上げ、原料となるてん茶の確保に努めるとともに、生産能力を増強するための設備投資を行い、旺盛な需要に対応できる体制構築に取り組んでおります。

この結果、リーフ・ドリンク関連事業の売上高は2,353億7百万円(前年同期比4.0%増)となり、営業利益は115億99百万円(前年同期比5.0%減)となりました。

<飲食関連事業>

タリーズコーヒージャパン(株)では、新規出店が順調に進んだことに加え、楽天ポイントの導入や価格改定効果により、売上高は好調に推移しました。一方、営業利益はコーヒー豆を中心とした原材料や人件費、出店コストの上昇により減益となりました。

新規出店については、新たなチャレンジとして空間や提供演出で魅力を伝える新業態「Link Cafe TOKYO」をニューマン高輪にオープンし、メディアやインフルエンサーを中心に話題を集めました。また、地方銀行とのコラボレーションである「八十二銀行伊那北店(長野県)」や、山形県初の「&TEA」業態である「&TEAエスパル山形店」をオープンするなど、都心部以外の多様なロケーションへの出店が進み、2025年10月末時点の総店舗数は829店舗になりました。

この結果、飲食関連事業の売上高は232億65百万円(前年同期比7.6%増)となり、営業利益は19億75百万円(前年同期比4.3%減)となりました。

<その他>

売上高は39億5百万円(前年同期比12.4%減)となり、営業利益は3億74百万円(前年同期比4.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の財政状態は次のとおりであります。

総資産は3,621億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ175億46百万円増加いたしました。これは主に、「現金及び預金」が27億7百万円減少、「売掛金」が74億43百万円増加、「商品及び製品」が58億31百万円増加、「原材料及び貯蔵品」が44億97百万円増加、有形固定資産の「その他」が12億43百万円増加、投資その他の資産の「その他」が12億90百万円増加したことによるものです。

負債は1,772億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ86億44百万円増加いたしました。これは主に、「買掛金」が19億25百万円増加、「未払費用」が44億54百万円増加、「未払法人税等」が18億69百万円増加したことによるものです。

純資産は1,848億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ89億1百万円増加いたしました。これは主に、「親会社株主に帰属する中間純利益」により「利益剰余金」が95億42百万円増加、「剰余金の配当」により「利益剰余金」が27億18百万円減少、「為替換算調整勘定」が15億30百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、65億8百万円の収入(前年同期は75億9百万円の収入)となりました。これは主に増加要因として、税金等調整前中間純利益が143億42百万円、減価償却費が44億98百万円、仕入債務の増加額が15億56百万円、その他の流動負債の増加額が44億72百万円あったことに対し、減少要因として売上債権の増加額が68億53百万円、棚卸資産の増加額が89億89百万円、法人税等の支払額が28億60百万円あったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、51億17百万円の支出(前年同期は59億45百万円の支出)となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出が57億29百万円あったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、46億75百万円の支出(前年同期は86億54百万円の支出)となりました。これは主に長期借入れによる収入が139億84百万円、長期借入金の返済による支出が147億93百万円、配当金の支払額が27億13百万円あったことによるものです。

この結果、当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物は834億37百万円となり、前連結会計年度末と比べ21億28百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月期通期の連結業績予想につきましては、2025年6月2日に公表した予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当中間連結会計期間 (2025年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	89,908	87,201
受取手形	65	110
売掛金	66,839	74,282
商品及び製品	46,255	52,086
原材料及び貯蔵品	13,014	17,511
その他	16,334	15,846
貸倒引当金	△423	△407
流動資産合計	231,995	246,632
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,764	25,876
土地	23,223	23,501
リース資産(純額)	4,522	4,378
その他(純額)	23,846	25,090
有形固定資産合計	77,356	78,846
無形固定資産		
のれん	762	628
その他	5,759	6,026
無形固定資産合計	6,521	6,655
投資その他の資産		
その他	28,850	30,141
貸倒引当金	△125	△130
投資その他の資産合計	28,724	30,010
固定資産合計	112,603	115,512
資産合計	344,598	362,144
負債の部		
流動負債		
買掛金	35,292	37,217
短期借入金	24,177	10,543
リース債務	1,448	1,312
未払費用	32,418	36,873
未払法人税等	2,749	4,618
賞与引当金	4,292	4,737
その他	7,741	7,695
流動負債合計	108,120	102,998
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	35,001	49,071
リース債務	2,445	2,524
退職給付に係る負債	6,824	7,052
その他	6,233	5,624
固定負債合計	60,505	74,272
負債合計	168,626	177,271

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当中間連結会計期間 (2025年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,912	19,912
資本剰余金	4,788	4,788
利益剰余金	153,367	160,189
自己株式	△5,930	△5,761
株主資本合計	172,137	179,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,059	2,823
土地再評価差額金	△6,074	△6,074
為替換算調整勘定	5,400	6,931
退職給付に係る調整累計額	755	564
その他の包括利益累計額合計	2,141	4,243
新株予約権	82	47
非支配株主持分	1,610	1,453
純資産合計	175,971	184,873
負債純資産合計	344,598	362,144

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年10月31日)
売上高	252,321	262,478
売上原価	157,475	167,433
売上総利益	94,845	95,044
販売費及び一般管理費	80,456	81,110
営業利益	14,389	13,934
営業外収益		
受取利息	307	230
受取配当金	54	61
持分法による投資利益	93	349
為替差益	—	592
その他	291	456
営業外収益合計	747	1,689
営業外費用		
支払利息	254	413
為替差損	47	—
リース解約損	111	80
その他	104	181
営業外費用合計	518	676
経常利益	14,617	14,947
特別利益		
固定資産売却益	2	7
固定資産受贈益	4	—
投資有価証券売却益	—	2
特別利益合計	7	10
特別損失		
固定資産廃棄損	119	144
投資有価証券評価損	9	39
減損損失	189	430
特別損失合計	318	615
税金等調整前中間純利益	14,306	14,342
法人税等	4,900	4,639
中間純利益	9,405	9,702
非支配株主に帰属する中間純利益	214	160
親会社株主に帰属する中間純利益	9,191	9,542

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年10月31日)
中間純利益	9,405	9,702
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	30	734
為替換算調整勘定	△301	1,567
退職給付に係る調整額	△7	△191
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	3
その他の包括利益合計	△295	2,114
中間包括利益	9,110	11,817
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	8,910	11,644
非支配株主に係る中間包括利益	200	172

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	14,306	14,342
減価償却費	4,248	4,498
減損損失	189	430
のれん償却額	461	133
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1	445
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△107	△52
受取利息及び受取配当金	△361	△291
支払利息	254	413
為替差損益(△は益)	3	△443
固定資産廃棄損	119	144
固定資産売却損益(△は益)	△2	△7
投資有価証券評価損益(△は益)	9	39
売上債権の増減額(△は増加)	△6,831	△6,853
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,285	△8,989
その他の流動資産の増減額(△は増加)	127	249
その他の固定資産の増減額(△は増加)	106	△57
仕入債務の増減額(△は減少)	1,069	1,556
未払消費税等の増減額(△は減少)	△707	406
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,177	4,472
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△770	△679
その他	36	△330
小計	12,043	9,426
利息及び配当金の受取額	297	367
利息の支払額	△265	△424
法人税等の支払額	△4,566	△2,860
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,509	6,508
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	423	620
有形及び無形固定資産の取得による支出	△6,370	△5,729
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	21	3
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△18	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,945	△5,117
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300	△80
長期借入れによる収入	—	13,984
長期借入金の返済による支出	△511	△14,793
自己株式の取得による支出	△4,588	△2
自己株式の処分による収入	0	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△804	△725
配当金の支払額	△2,694	△2,713
非支配株主への配当金の支払額	△347	△334
その他の支出	△8	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,654	△4,675
現金及び現金同等物に係る換算差額	△71	1,155
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,162	△2,128
現金及び現金同等物の期首残高	105,397	85,565
現金及び現金同等物の中間期末残高	98,235	83,437

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ドリンク 関連事業	飲食関連事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	226,247	21,616	4,457	252,321	—	252,321
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	511	3	1,346	1,861	△1,861	—
計	226,759	21,620	5,803	254,183	△1,861	252,321
セグメント利益	12,208	2,064	393	14,666	△277	14,389

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△454百万円、セグメント間取引176百万円であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2025年5月1日 至 2025年10月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ドリンク 関連事業	飲食関連事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	235,307	23,265	3,905	262,478	—	262,478
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,073	107	341	1,523	△1,523	—
計	236,381	23,372	4,247	264,002	△1,523	262,478
セグメント利益	11,599	1,975	374	13,949	△15	13,934

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△133百万円、セグメント間取引118百万円であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。